



「財光寺の地域の力」子供達のためにありがとうございます！

財光寺小の特色を聞かれると私は、①子どもの素直さ ②職員の団結力 そして③「地域・保護者の協力」をあげます。財光寺の方は、登下校の見守りや地域活動、授業支援等すごく熱心です！だからこそ、素直で優しい子供達が育っているのでしょう。今月は感染対策を講じながら財光寺地区とともに前進する学校の様子を紹介します。

その1 聖火リレーのお話とトーチ

5/25【火】放送全校朝会に、オリンピック聖火リレーで走られた竹田裕見子さんがゲスト出演！竹田さんは「聖火の灯が希望の光になってほしい。希望への道をつなぎましょう！」と子供達にエールをおくってくださいました。貴重なトーチは「さわってもらってこそ価値がある」とのご意向で全校児童が触れさせてもらっています。



その3 田植え

6/1【火】今年も5年生が田植えをしました。初体験の子も多く、全身泥だらけで夢中になって植えました。5年生の「治田さんや地域の方の協力に感謝する」「食べ物に命を大切にしたい」「この取組を伝えていきたい」という言葉がうれしかったです。保護者も20名以上応援に来てくださいました。支援者の治田健吾さんを中心とした協力者に感謝し、収穫めざしがんばります。



その2 登下校見守り隊感謝集会

6/4【金】この集会も放送で行いました。いつもお世話になっている20名の見守り隊の方を代表して河野政志さん、末松喜美子さん、竹田裕見子さんが来校され、「元気なあいさつやありがたいの言葉がうれしい」「横断は下を向かず手を上げて」などの温かいメッセージを届けてくれました。6年の児玉希神さんが素晴らしい感謝の言葉(裏面掲載)を述べました。本当はみなさんに来校していただく予定でしたが…来年こそは直接感謝の気持ちをお伝えしたいです。



その4 五十猛神社見学

6/9【水】6年生は財光寺伝統「ひょっとこ踊り」探究に燃えています。まずはルーツを知るために五十猛神社の壱岐宮司にお話を聞きました。幸せを願う感謝の踊りにまつわる貴重なお話を聞き、6年生は「知らないことが多かった」「守り続けていきたい」と感想を述べました。地域の方に協力いただき、面作りや祭りへの参画などを考えているそうです。



この活動を支えるのが「学校運営協議会(コミュニティスクール)」です

本年度の第1回学校運営協議会を6月3日(木)に実施しました。これは地域と学校が協力して教育の在り方を考える機関で、令和元年度より市内全小・中学校が取り組んでいます。3年目の今年は、さらなる地域人財(材)との連携協力をめざして取り組もうと決意を新たにしました。年4回の実施を計画しています。【令和3年度学校運営協議会委員】★三村隆之氏(元PTA会長・現財中PTA会長) ★日高隆氏(元区長、花まる先生) ★山本捨治氏(山下区長) ★黒田雄大氏(財光寺地区入会会) ★榊田明子氏(本校元PTA、現高校PTA) ★竹田裕見子氏(主任児童委員) ★黒木德行氏(財光寺商店会副会長) ※河野政志氏(地域コーディネーター)

【職員の紹介】谷山じゅん(技術員補助)

退職した児玉マキ子さんの後任として6月1日から勤務しています。環境整備等がんばっています。11日より勤務している矢野梨南(4年理科、5・6年算数少人数)とともによろしくお願いします。